

育成を目指す資質・能力

11月7日訪問

言語能力、問題発見・解決能力

「情報の取り出し」を意識した指導

NIE新聞を活用した学習活動

第6学年 B(2) およその面積

②身の回りにある形の幾何学やおよその面積などに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 身の回りにある形について、その概念を捉え、およその面積などを求めること。

イ 次のような思考力・判断力・表現力を身に付けること。

(ア) 図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かすこと。

知識・技能の定着に着目した単元の見直し
教科書問題

情報の取り出し 意味のあるペア学習

- ① 聞かれていること(およその面積)とは、どういうことか考えさせる。
- ② 路線の鉄道や高速道路の線をもとに、琵琶湖のおよその形について、捉えさせる。
- ③ 既習の三角形や四角形の面積の求め方を活用すれば、およその面積が求められることに気付かせ、考えを持たせ、課題を提示する。

ペア学習の視点として、自地図におよその面積に、どんな図形を当てはめて考えたのか、また自分の式と当てはめた図形を関連付けながら説明させ、多少の面積の違いや求め方の違いがあることに気付かせる。

- ① 前時は、三角形や長方形の面積の公式を活用しておよその面積を求めたことから、三角形の面積が活用できそうであることに気付かせる。
- ② さらに、三角形よりも適した面積の求め方があることに気付かせ、台形の面積の求め方を確認する。

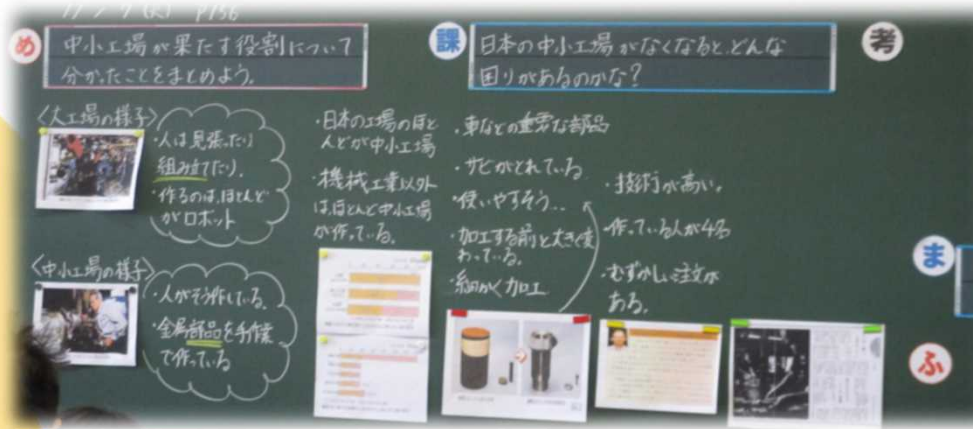
台形の面積の求め方と実際の球場の広さを関連付けながら計算ができていくか、確認させたりアドバイスしたりさせる。

上辺、下辺、高さはどこにあたるのか、図形を指し示しながら式と対応させて説明するように指示をだす。

該当の教科書問題

該当の教科書問題

知識及び技能の定着を視点にして、1 単位時間における「情報の取り出し」「意味のあるペア学習」を明確にした単元構想



課題の解決に必要な情報を複数の資料から取り出し、取り出した情報を関連付けて自分の考えをつくる

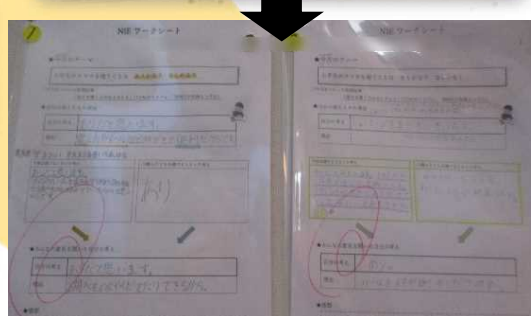


視点に基づいて、生活目標紹介文をアドバイスし合う



問題場面を明確にするための情報の取り出し(算数)

アレイ図を全員に渡し、7の段の構成を捉える



読みのテーマを設定しNIEタイムを実施



子ども会議の実施

子ども会議では新聞から読み取ったことをもとに自分の考えを書き、議論する